

伊藤 ゆきひろの ちょっとタイム



便り <No.130号> 2022年 1月1日 発行

ごあいさつ

様々な行事と共に始まる新年、引き続き制約はありそうですが前向きに歩みましょう。

さて、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種が始まる本年、その供給計画は昨年輸入された国の在庫分が殆どで、その後は輸入頼みとのこと。現在日本では5社がワクチン開発中ですが、米国製薬会社より技術

移管を受け生産・流通を行う予定も有り、一刻も早く接種率を上げ直結する経済の順調な回復を願います。

本市では12月議会で4億円のワクチン予算を確保、接種券の発送他2回目以降の接種を順次進めています。

先月、来年度の与党税制大綱が決定され、賃上を促す税制の拡大が挙げられましたが、赤字企業は原則対象にならず賃金格差が広がる恐れも有り、公平性と実効性を保つべく、国会審議に期待したいと思います。

初冬の米国を襲った巨大竜巻・スーパーセルがいくつかの町を飲み込み、甚大な被害が出ています。地球規模の気候変動が引き起こす世界中の災害に、待った無しの対策が急がれますが、いまだ紛争に明け暮れる地域も多く、平穏な暮らしや大切な人々を、一瞬にして失う災禍が無い年となるよう、願ってやみません。



刈谷市議会議員

【事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

1月 1日 (土・祝) 元日

5日 (水) 小寒

7日 (金) 人日の節句 (七草)

10日 (月・祝) 成人の日

15日 (土) 小正月

20日 (木) 大寒

コロナウィルスと迎える二度目の新年です。モグラ叩きのように次々と新しい顔を見せるしぶとい敵との闘いは、未だ収束の兆しを見せませんが、世界はその先を見据え with コロナとして踏み出そうとしています。幸多き年となりますよう。

12月のフットワーク

刈谷市 令和3年12月 定例議会 報告

同意 案件	単行 議案	条例 議案	予算 議案	議員提出 議案	委員会 議題	請願	陳情	意見書
1件	4件	5件	9件	1件	1件	2件	2件	5件
同意	原案 可決	原案 可決	原案 可決	原案 可決	-	不採択	不採択	1件：採択 4件：不採択

< 議会日程 >	
12/1~3	本会議 (一般質問)
12/7 ~10	各種常任委員会 予算分科会
12/16	予算審特別委員会
12/17	本会議 (議案採決)

◆ 主な議事の内容 (抜粋)

【一般質問】 19名の議員が刈谷市の行政施策に対し質疑をおこなった (抜粋)

小中学校の安全対策・持続的成長施策・マイナンバー取得・職員の給与水準
 带状疱疹ワクチン接種・公共施設連絡バス・災害時のペット同行避難
 通学路の安全対策・自治会加入促進・学校の制服・学習端末・ゼロカーボン 等

【主な議案】 ・固定資産評価審査委員会委員の選任・人権擁護委員候補者推薦の同意

・事務分掌条例の一部改正…情報政策に関すること (自治体DXの推進)
 ・市街化調整区域における建物の新築等の許可に関する条例の一部改正 等

【請願】 ・介護、福祉、医療など社会保障の施設拡充についての請願

・子どもたちの豊かな育ちを保障する制度の充実・拡充を求める請願 等

【陳情】 ・ミャンマー国軍に経済的支援を絶つよう政府に意見書提出を求める陳情 等

【意見書】 ・米政府の「核兵器先制不使用」宣言に賛同するよう求める意見書 等

【議員提出議案】 ・ヤングケアラーへの支援の充実についての意見書を国に提出

【令和3年度12月補正予算】

会計名	(百万円)		
	補正前	補正額	補正後
一般会計	62,127	3,679	65,806
特別会計	23,879	9	23,888
企業会計	10,626	▲15	10,611
合計	96,632	3,673	100,305

(前年同月比 14.7%減)

< 主な補正予算事業 >

・子育て世帯への臨時特別給付金事業 2,705百万円
 ・新型コロナワクチン接種事業 396百万円
 ・子ども・子育て支援システム改修事業 15百万円
 ・ICT教育事業 395百万円
 ・中央図書館学習環境整備事業 20百万円

本会議での一般質問および福祉産業委員会での質疑 (抜粋)

		自治会加入促進について	
本会議	Q	本市の自治会加入率は、2030年度には60%を割るかも知れず、現状の加入率低下に対する課題認識と当局の取組みは。	
	A	自治会加入率低下は、市民生活維持に必要な地域力に影響し、防災や防犯の面からも大きな課題と認識。地域活動を支援するための「元気な地域応援交付金」を通して地域の絆づくりを支援し、地域の課題を自主的な活動で解決できる組織となるよう、住民会議の開催や人材の育成・確保など、活動の活性化に取組んでいる。	



本会議場にて

		再エネ活用促進について	
委員会	Q	刈谷・知立環境組合 (ごみ焼却場) から生み出される再エネ電力を両市が話し合い活用する取組みを進めては。	
	A	現在、採算性やCO2排出削減効果等について、知立市と連携し研究を進め有効活用について検討している。	



委員会室にて

12月のフットワーク

刈谷市 新型コロナ感染拡大による影響調査（事業者アンケート結果）抜粋

【調査目的】新型コロナウイルス感染拡大が事業者に与えている影響を把握することで、今後のまちづくりにおける課題や方向性などの整理に活かす。
 【調査期間】令和3年8月6日アンケート票を配布し、9月3日に回収
 【アンケート回収状況】 配布数：152票 有効回収数：90票 有効回収率：59.2%

アンケート回答業種結果		
業種	件数	割合
建設業	8件	8.5%
製造業	42件	46.7%
電器・ガス・熱供給・水道業	0件	0.0%
情報通信業	1件	1.1%
運輸業・郵便業	2件	2.2%
卸売業・小売業	8件	8.9%
金融業・保険業	2件	2.2%
不動産業・物品賃貸業	0件	0.0%
学術研究・専門技術サービス業	2件	2.2%
宿泊業・飲食サービス業	4件	4.4%
教育・学習支援業	4件	4.4%
医療・福祉	3件	3.3%
複合サービス業	1件	1.1%
サービス業(他に分類されないもの)	12件	13.3%
無回答	1件	1.1%

【経営への影響】

- ①：影響は好転・成長している
- ②：どちらかと言えば、経営は好転・成長している
- ③：影響を受けていない
- ④：どちらかと言えば、経営は悪化・停滞している
- ⑤：経営は悪化・停滞している
- ⑥：無回答

	調査時点 (コロナ禍)	コロナ禍以降の 見通し・予測 (思われる)
①	4.4%	4.4%
②	16.7%	40.0%
③	17.8%	16.7%
④	38.9%	28.9%
⑤	20.0%	6.7%
⑥	2.2%	3.3%

【操業への影響】（休業したかどうか）

休業した	36.7%
休業せず今後も行う予定はない	46.7%
休業せず、今後の方針は未定	6.7%
その他	8.9%
無回答	1.1%

【新規採用活動の変化】

採用予定者を増やした	3.3%
変化なし	75.6%
採用活動を休止または一時中断	8.9%
採用予定者を減らした	10.0%
無回答	2.2%

製造業が中心の本市では、ウィズコロナ・アフターコロナにおいても一定の発展が見込まれ、これまでの取り組みを引き続き推進することは重要。一方、商業をはじめとしたコロナの影響を受けた分野の経済回復を進めるとともに、安心して外出できる環境整備に取り組む必要がある。

ちよこっとインフォメーション

我々の仲間をみんなで応援しましょう！

参議院議員 **はまぐち誠** さんの紹介



はまぐち誠 プロフィール

1965年 三重県松阪市生まれ
 1988年 筑波大学 第三学群社会学部 卒業
 トヨタ自動車株式会社 入社
 2002年 全トヨタ労働組合連合会 副事務局長
 2008年 自動車総連 事務局次長
 2015年 自動車総連 特別中央執行委員
 2016年 参議院議員選挙初当選、全トヨタ労働顧問

活動紹介

新型コロナウイルス感染症対策について質問 (2021/9/28)

- ・ 第5波の教訓を活かし、自宅無料検査の拡充を提案
- ・ 5歳から11歳の子供たちへのワクチン接種の検討を要請
- ・ 飲み薬タイプの治療薬の早期開発提供に向けた国の支援を要請

第6波に備えた先手を打つべき！



参議院運営委員会



こちら是非チェック！
 はまぐち誠
 公式サイト



伊藤ゆきひろの ちよこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



赤・青・黄色の三角帽子が目印の大型遊具は子供達の夢を膨らませる秘密基地。豊かな自然を背景に冬の陽差しをたっぷり集める公園です。さて、ここはどこでしょう？



12/1発行の<No.129>の答えは、御幸町の昭和2年創業の上天温泉跡。当時珍しい鉄筋コンクリート造りの建物は、碧海郡刈谷町中心市街地で愛されましたが、平成11年廃業しました ☹

“家紋の魅力”への招待☆

ずいぶん昔、正月に招かれ先輩のお宅を訪問しました。よく手入れされた庭を通り玄関の扉を開けると、壁の天井近くから丈4~50cm、横幅一間程もある紫の布が掛けられ、その中央には家紋がいかにも厳かに取り付けられていました。

今日 節句や特別な儀式の折等以外、目にする機会も少なくなりましたが、京都の街を歩けば店の暖簾や屋根瓦等に様々な文様が見られます。家紋は9世紀京都、天皇が住む御所に公家が乗る牛車が溢れ、誰の車かを見分けるため独自の文様を施すようになったのが始まりと言われます。その後16世紀 戦国時代になると合戦の場で敵味方の区別をし易いよう、家紋を旗印として使ったため武士の間で爆発的に広まり、庶民が家紋を使うようになったのは百年程前明治の終わりから。

1936年に刊行された平安紋鑑には4千数百の家紋が載っていますが、一つのモチーフ（矢羽根や根強い草など）を基に多様な家紋が生み出された事がわかります。ひとと違うものを求めそれぞれの美意識が変化を生み発展して行きました。

発祥の地京都には、母から娘へと女性にのみ受け継がれる女紋もあり、日本独特の文化は、豊かなイメージの世界を広げ、過去から未来へと繋がって行きます。

1月の行事予定

- 1月 9日 (日) 刈谷市新成人の集い
- 12日 (水) 臨時議会
- 18日 (火) 刈谷市防災講演会
- 19日 (水) 刈谷市総会式典
- 25日 (火) 西三河9市研修会

“まじめにコツコツ、即行動”
 頑張ります!!

